



公益社団法人福岡医療団
総合病院 千鳥橋病院

福岡医療団
FUKUOKA IRYO DAN

JCEP
Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training
卒後臨床研修評価機構 認定病院

International Network of
Health
Promoting
Hospital & Health Service
健康増進活動拠点病院

千鳥橋病院・千代診療所広報誌

ちびり通信

Vol.85

2013年4月

千鳥橋病院の理念

無差別・平等の医療

「患者の人権」を尊重した医療をすすめます

安全・安心・信頼の医療

患者さんや地域の方々とともに
医療の質の向上につとめます

安心して住み続けられるまちづくり

保健・医療・福祉のネットワークを広げます

ヘルスプロモーション活動の推進

HPHとして、患者、地域、職員の健康づくりをすすめます

千鳥橋病院の医師研修理念

「各科に共通の確かな基本的力量と豊かな人権意識、健康増進への意識を備えた、地域医療を志向する医師」を「それぞれの研修医を主体者にして」養成する。
当院は、厚生労働省より「基幹型臨床研修病院」に指定されています。「基幹型」とは、「他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の管理を行うもの」と定義されています。

千鳥橋病院 看護の理念

「患者の権利」を尊重し、安全で安心できる、差別のない看護を提供します。

医療の質向上交流発表集会

最優秀賞 お子さまロール part-2…………… 2

小児科予防接種…………… 4

MRIが新しくなりました…………… 6

ふくおか健康友の会コーナー…………… 7

キラッと看護・クイズ…………… 8



福岡医療団は今年で
創立 **50** 周年を
迎えます



TQM活動

第8回 医療の質向上 交流発表集会

1月20日に国際会議場で、第8回目の「医療の質向上交流発表集会」を開催しました。病院の職場や医学生も加わった50チームのエントリーがあり、医療の質の向上をめざした取り組みの成果が発表されました。

今年の最優秀賞は、小児科検査抑制帯を、患者さんにも職員にもやさしい工夫に取り組んだ、救急センターの「お子さまロール 抑制帯をよくせい! Part2」が受賞しました。その内容をご紹介します。

TQM(Total quality management)とは・・・

「全スタッフが品質、サービス、業務プロセスの質の向上に継続的にかかわっていくというアプローチ」のことです。

ER特製 お子さまロール part-2

2011年12月、小児の処置や検査が安全に行え、さらに看護師の労力の軽減を目的としてベッドと一体化した「抑制帯」を作成しました。



抑制帯
↓
ネーミング変更



小児の安全な処置や検査のために

小児の処置や検査を行う際に、恐怖心から身体を動かす危険性があります。そのため、身体を動かさないように、安全に処置や検査を行えるように、ベッドと一体化した「固定帯」を作成しました。

ネーミングを変更

この固定帯は、昨年まで「抑制帯」という名称でしたが、保護者に対して「抑制」という言葉のマイナスイメージが強く、「固定」という表現の方がよりふさわしいと考え、今後は「固定帯」という名称で統一することにしました。

また、この固定帯は、安全に処置や検査ができるというメリットだけでなく、固定に必要な看護師の労力の軽減という大きなメリットもあります。

これまでの固定帯の

3つの
問題点

1 固定帯の大きさが小児それぞれの体格に合わない
学童には固定帯が小さいため足までしっかり固定できず、新生児・乳児では、逆に固定帯のサイズが大きいため、固定が不十分でした。

2 ベッドへの取り付けが一人で難しかった

3 生地やマジックテープが硬く
装着時の不快感がある

サイズが合わないヨ



生地や
マジックテープが
ちょっと硬いかな



ひとりじゃ無理で～す

改良型

お子さまロール第2弾 作成

どんな子でも
きちんと固定
できるように



問題点を改良

まず、みんなで型紙を作り、ぬいぐるみなどを使って、どんな体格の小児でもきちんと固定できるように工夫を重ねました。医師からの応援を受けながら、勤務の休憩時間や、時には自宅へ持ち帰り、こつこつと固定帯を完成させていきました。

生地も、肌に優しい、柔らかなコットン100%にこだわり、サイズが合わず固定が不十分という問題と、生地の不快感という問題を解決しました。



生地は柔らかな
コットン100%で



完成!

大小2種類の帯



ストレッチャーにも装着可能

いよいよ完成!

どんな体格の小児でもしっかり固定できるように、大小2種類の固定帯を作成しました。また、固定方法には、これまでマジックテープを使用していたのですが、第2弾では、紐と金具にすることで、ひとりでも簡単に長さ調節ができ、どんな大きさのベッドにも取り付けられるようになりました。

もちろんベッドにも!



紐と金具でどこでも簡単装着

2種類のサイズで

幅広い体格の小児に使用できます

新生児・乳児用固定帯

幼児用固定帯

学童期



小



大



小

膝には小

大

体幹には大

●受賞の声●



ERのスタッフ (右端が与那嶺看護師)

救急センターには様々な患者さんが来られます。その中で、小児の処置には大人の患者さんよりも看護師の人数と手がかかります。ERナースは、一人でも多くの患者さんを看ようとがんばっています。そこで、少人数で安全に、そして患者さんが喜んでくれることを考えて作成し完成したのが、この固定帯です。私たちナースだけでなく、一緒に業務する医師も処置がしやすくなったと評価してもらいました。これからも働きやすい職場作りを目指し、チーム一丸となって楽しく、がんばっていきましょう。(与那嶺 牧子)

そこが
知りたい

予防接種スケジュール表で保健指導 小児科予防接種

予防接種は完全予約制です。
お問い合わせ・お申し込みは

千代診療所まで
☎092(651)0726

わかりにくい予防接種のしくみ

近年、小児科医療では予防医療がめざましく発展しています。

現在は生後2カ月から予防接種が可能になり、種類も多く内容も複雑になっています。接種期間の条件や適応年齢も異なるため、保護者も予防接種の計画を立てることが困難な状況です。

当院では予防接種スケジュールを小児科スタッフが母子手帳を見ながら接種計画を立案していますが、実施してみると接種期間や適応年齢を間違えることもあるほど複雑になっています。

安心な子育てを応援します

千代診療所小児科外来では、2012年11月から当院産科で出生され、通院可能な方に予防接種スケジュールを計画する保健指導を開始しました。

まだ開始したばかりですが保護者の評判もとても良く、その後の接種もスムーズに行えています。



今後も保護者の方が安心して子育てができる環境づくりをお手伝いできればと思っています。

千鳥橋病院で出産し、千代診療所小児科外来にかかってよかったと思える外来を目指していきます。

予防接種を受ける方には
予防接種スケジュール表を
お渡しします。



患者さんご家族の声

次の予防接種が何をいつ受けていいのかがひと目でわかり、助かっています。予定がたてれるので安心ですね。



小児科診療体制のご案内

	月	火	水	木	金	土
	診療時間 [受付] 8:00~11:30 [診察] 9:00~					
9:00						
10:00	中島 嶽村	鈴木 嶽村	山口 中島	中島 嶽村	正木 嶽村	輪番
11:00						
12:00						
13:00	予防接種外来 14:30~16:30	アレルギー外来 (完全予約制) 14:00~			乳児健診 (第2・第4) 13:30~15:00 診察は14:00~	
14:00		予防接種外来 15:00~16:30				
15:00						
16:00						
17:00						

*診療医師が変更になる事があります。



小児科・夜間診療のお知らせ

こどもの急な病気でおこまりな方に
火・金曜日は17時から19時に
小児科医による時間外診療を
させていただきます。

●アレルギー外来 完全予約制

★毎週/火曜日 [午後] 14:00~

●予防接種外来 完全予約制

★毎週/火~金 (通常診療と一緒に)

[午前] 9:00~11:30

★毎月/第1・3火曜日
[午後] 15:00~16:30

★ 第2・4月曜日
[午後] 14:30~16:30

●乳児健診

★毎月/第2・4金曜日 (診察は14:00から)
[午後] 13:30~15:00

*なお、福岡市在住の10カ月検診以外の方は
有料(1,050円)となります。

ご予約の
お電話は
12:00~
13:00に!

詳しいお問い合わせは
午前中の
小児科外来に
(12:00~13:00)
ご連絡ください。

2012.11月現在

東館リニューアル情報

生まれ変わる! 東館

2014年4月誕生予定

千鳥橋病院東館は、ただいまリニューアル工事の真っ最中です。工事中は入院中の患者様には大変ご迷惑をおかけしますが、完成した際には、療養環境も大幅にグレードアップします。

具体的には、明るく広い食堂談話室の設置や、個室数の増加、1床当りの面積の充実などがあげられます。

WHO(世界保健機関)が推奨するHPH(健康増進活動拠点病院)としてのコーナーの設置、リハセンター・透析室の拡充も行います。玄関には太陽光パネルも設置し、電力供給の一翼を担います。内外装も一新し、新築同様に生まれ変わる予定です。

2014年4月誕生予定の「千鳥橋病院東館」に皆さま是非、ご期待ください!



▲玄関に太陽光パネルを設置



▲HPH情報センター



◀エントランス・受付(1階)

MRIが新しくなりました

千鳥橋病院西館がリニューアルオープンし、MRIも新しくなりました。MRIは、CTやレントゲン撮影とちがい、放射線を使用しないので、被曝の心配がありません。ただし、検査中は、静止する時間が長く、騒音もあり、快適な検査とは言えませんでした。

新しくなったMRIは、どう変わったのでしょうか？



千鳥橋病院放射線科
主任 平林 幸雄

1 新しいMRIの特徴

鮮明な画像

画像が、従来のものより、きれいに、細部まで見えるようになりました。また、これまでは不可能だった下肢(足の先)の細い血管や四肢(手足)の病変まで鮮明に描出できるようになりました。

身体に負担の大きい造影剤を使わずに動脈と静脈とを分けて画像化することが可能になり、診断の情報としてさらに有用な検査となりました。



従来の造影動脈

画像がより鮮明に!



新しい単純の動脈



同じく静脈像



門脈

腎動脈

腹部の血管もこれまで以上に鮮明な画像を得られるようになり、医師からも「見やすくなった」と好評です。

2

騒音を90%カット

従来の静音化技術では聴感で約50%カットするのが限界だった騒音を、90%までカットすることが可能になりました。

患者さんからも「音が静かになった」と大好評。

3

広い検査スペース

検査のために入る筒丈の空間が従来より広くなり、今まで以上に快適な検査を受けることができるようになりました。



受けやすい検査になりました。
まずは医師にご相談ください。





患者さんの声

以前、MRI 検査を受けましたが、その時よりも広く、静かになり、とても楽になりました。

MRIは、Magnetic Resonance Imaging system(磁気共鳴画像装置)の略称で、磁気と電波を用いて体内などの画像を撮影する装置です。様々な病巣を発見することができますが、特に脳や、脊椎、四肢、また子宮、卵巣、前立腺等の骨盤腔に生じた病変に関して優れた画像描出が可能です。色々な病気の早期発見、診断にMRI検査は有効とされ研究が進んでいます。



最新のMRI

ふくおか健康 友の会コーナー

共に学び、共に成長

地域の声が聞こえる医師研修

福岡医療団の研修医が友の会の班に所属し、班員として参加しています。病棟や診察室からは見えない「生の声」を受け止めようと頑張っています。

2012年12月のある日の午後、嘉藤小枝子、大塚峻央の両医師がパピヨン班(博多区)の班会に参加しました。

まずは、みんなで作った美味しい料理に舌鼓を打ちながらの食事会です。家族の一員のように楽しく会話しながら班会は進行していきます。

この日は食事の後、「手洗い」についていっしょに学習をしました。

同班は、4年前から「班員」として新卒医師を迎え入れていきます。

孫のように年の離れた医師を温かく見守る友の会班は診察室では聞けない患者の本音を聞くこともあります。

「班会」は、地域の生の声を聞き、共に学び成長していく貴重な場になっています。

皆さん非常に若々しく、エネルギーに溢れていて驚きました! 毎回、栄養満点の手作り料理で歓迎していただき本当にありがとうございます。皆さんの健康のために色々協力できたら嬉しいです。(嘉藤)



手洗い講習をする
大塚医師(左)と嘉藤医師(右)



楽しく会食



みなさんを感染源から守ります

★感染管理認定看護師のご紹介★

感染管理認定看護師とは、在宅から急性期病院まで、すべての医療関連施設を利用する患者さん、ご家族、訪問者はもちろん、現場で働くすべての人々を感染源から守ることを主な役割としています。



感染管理認定看護師
師長 灘吉 幸子

千鳥橋病院の具体的活動

- ♪ 感染防止に取り組むための多職種チームを作っています。
(インфекション・コントロールチーム:ICT)
- ♪ 院内の耐性菌や感染の発生率を調査し、集団感染が起きていないかをチェックしています。
- ♪ 院内ラウンドを週に1回行い、感染対策マニュアルの遵守状況や、感染患者の適切な隔離や感染対策状況の確認を行い、感染管理上何か問題はないかを点検したり、抗生物質の適正使用のための相談や指導を行ったりしています。
- ♪ 定期的に学習会を開催し、職員教育を行っています。
- ♪ 感染対策マニュアルの作成や最新の知見の基づいた改訂をしています。
- ♪ 院内向けにICTニュースを発行し、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症の流行状況のお知らせや啓発活動に役立てています。
- ♪ 他の医療チーム(呼吸サポートチーム:RSTや、栄養サポートチーム:NSTなど)とも連携をとり、チーム医療を推進しています。
- ♪ 職業感染予防のためにワクチン接種や、血液や鋭利な物の取り扱いを指導しています。
- ♪ 感染対策に関する様々な相談を受ける窓口になっています。
- ♪ 他の医療機関とも連携をとり、定期的に症例検討会を行い、相互に院内ラウンドを実施して感染対策に関する改善を行っています。

ちどりクエスチョン-1

クイズに答えて図書カードをGET!



千鳥橋病院 西館

クイズ

福岡医療団は
今年で創立〇〇年です

〇〇に入る数字をお答えください

正解者の中から抽選で5名様に
500円の図書カードをプレゼント!

★締切は…4月30日(火)

応募方法

官製ハガキかFAXもしくはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・電話番号・本誌の感想、ご意見、日常の身の回りの出来事などを書いてお寄せください。お寄せいただいたお便りは、本誌に掲載させていただきます。

- ハガキ…〒812-8633 「ちどり通信クイズ」係
- FAX…092-633-3311
- Eメール…sm-chidori@fid.jp